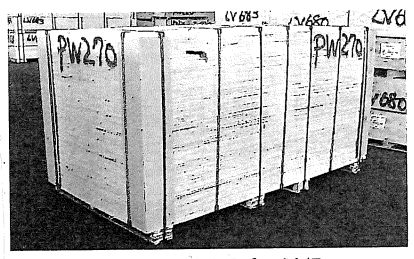


日刊木材新聞

発行所 日刊木材新聞社
 〒135-0041 東京都江東区本木23-4
 編集 編集 03-3820-3500
 FAX 03-3820-3519
 総務 販売 03-3820-3511
 FAX 03-3820-3518
<https://jfpj.jp/>
 eメール info@n-mokuzai.com
 購読料 1か月 6,200円
 ©日刊木材新聞社 2023
 本紙の無断複製(コピー・PDF)配布は、著作権の侵害にあたり違法です。

梱包用6プライ合板を開発

—— 瀬崎林業 ——



川崎港に入荷した6プライ合板

長時間の高温圧着で接着強固に

瀬崎林業(大阪市、遠野嘉之社長)は、ベトナムの合板メーカーと協力し、梱包用ベトナム産合板「6プライ合板」を開発した。同社がかねて販売する梱包用合板の種類を従来の5層から6層に増やすとともに、長時間の高温圧着で接着を強固にするなどして高品質化した。6月中旬には6プライ合板(9mm厚、4×8判)46立方尺が川崎港に初入荷した。目標販売数量を月間250立方尺に据え、従来のベトナム産合板商品と合わせて同1500立方尺の販売を目指す。

同社は2019年に取り扱いはじめた高品質商品「SAGレイド」も着実に販売数量を伸ばしており、現時点で月間約250立方尺ほどに達している。これらをはじめとする全グレードを合わせると、現在は同約1200立方尺のベトナム産合板を販売している。今回の6プライ合板は、これまで展開してきたABグレードとビュアグレードをそれぞれ取り扱ってきた。近年6層仕様にしたもの。また、表面にピンタングール、裏面にスタインラックスを使う仕様は変わらないが、6プライ合板では中の層を一部ユーカリを用いて交互層層しており、より強度面の向上が期待できる。

生産過程では通常より長い時間をかけて高温圧着することで接着力を強化。さらに現場で含水率もコントロールしながら生産している。なお、従来の5層から厚みは変わらない。開発に当たっては、かねて安定した品質の合板を供給してきたベトナムの合板メーカーと協力した。開発中は直接メーカーに要望を出しながら試行錯誤を繰り返し、ようやく製品化にこぎ着けた。

6月中旬には、6プライ合板計46立方尺が川崎港へ入荷した。現時点で入荷しているサイズは9mm厚4×8判だが、今後は顧客の需要に沿って対応サイズの拡充なども検討している。6プライ合板は月間250立方尺の販売を目標とし、年内に同社のベトナム合板の総販売数量を1500立方尺まで引き上げた。考えだ。